鳥 海 讃 歌

ＧＴＨ通信　第３７号　令和３年３月１日（月）
校長室より

母校の誉れ継ぎゆかむ

第４２期卒業生のみなさん、御卒業おめでとうございます。第４３期、第４４期に当たる在校生のみなさんは、卒業生一人ひとりが壇上で卒業証書を手にする瞬間と先輩方の勇姿を眼に焼きつけるべく、式典に臨んでください。在校生のみなさん、令和４年、令和５年の今日は、みなさんが主役となります。近い未来を想像しながら、今日の良き日を忘れずに今後の人生や学校生活を歩んでください。

今日は、みなさんに仁賀保高校同窓会についてお話します。秋田県立仁賀保高等学校は１９７７年に創立しました。１９８０年３月に卒業した第一期生は、２５８名で現在５９歳に達しています。今日の良き日に卒業する７５名を加え、同窓生は８１０５名となります。最近漫画界で大ブレークしているチェンソーマンの藤本タツキ（樹）さんは、第３２期卒業生です。みなさんもよく知っている超人ネイガーは、第９期卒業生の海老名保さんです。

同窓会則によると、「会員相互の親睦と向上を図り、母校の発展に資することを目的」にしています。会員は正会員と特別会員から構成されています。正会員の資格は、卒業生と在籍した者で、総会における承認が必要です。特別会員は、仁賀保高校の現旧教職員と定義されています。同窓会役員は、会長が佐藤正樹さん（第４期）、副会長は２名で亀山純さん（第４期）、金春彦さん（第５期）です。会計監査は３名、理事に４名、幹事は１９名となっています。顧問に金子富士夫さん（第１期）が名を連ねています。
一方で、学校側から顧問として校長・教頭、同窓会の会計を担当する事務長には仁賀保高校の事務長、校内幹事３名という組織になっています。本日卒業する７５名はもとより、在校生と教職員のみなさんに、是非とも同窓会活動の目的と、母校への関わりについて理解を深めてほしいと思います。仁賀保高校のホームページ（ＨＰ）は、同窓会のＨＰへリンクしています。同窓会のＨＰを見て、活動内容を確認してください。

３月１日は卒業式に先立って、同窓会入会式があります。同窓会の代表者であるみなさんの大先輩が、みなさんの入会をお祝いするともに、母校の発展に寄与する手立てや取り組みをお話する会です。卒業生の中から、同窓会を牽引する理事が選ばれ、みなさんに紹介する場でもあります。
本校の同窓会の構成員は、他校に比べて年齢が若く、会長をはじめ、非常にアクティブで、母校の将来に大いなる可能性と期待を込めて活動しています。学校への冷房機器や正門前の白い長椅子の寄贈をはじめ、就職に関するアドバイス、にかほ市との連携協定への協力等、物心両面で、後輩のみなさんを支えてくれております。
本日晴れて学び舎を巣立つ第４２期卒業生のみなさん、コロナ禍の世の中で、不安や困り感が生じると思います。そんな時は、是非同窓会を頼ってください。現在、教職員のなかにも同窓生が３名おります。また、本校勤務２３年を誇る名誉同窓生や、私も仁（２）期生と強く肝に銘ずる自称同窓生です。「仁賀保高校をこよなく愛する自称同窓生」は沢山いますが、みなさんは間違いなく仁賀保高校同窓生の本流です。
卒業する第４２期のみなさんは、これからの仁賀保高校の益々の発展を支えていただき、同窓会活動に積極的に参画してください。
「母校の誉れ継ぎゆかむ」、校歌３番のラストフレーズを心に刻み、仁賀保高校を永遠によろしくお願いします。

★　アイコンタクツ（ｉcon ｔ act２）を心がけてください。目と目で通じ合い、face to face で向き合いながら、「考えながら行動する」笑顔の素敵な人間たれ！
★　メモをとる習慣を確立しましょう。生徒手帳をフル活用してください。メモをとる習慣は、将来必ず役に立ちます。
★　意識力＝意思・意志（瞬間）＋気力（持続）です。意識力を育成することで、学ぶ力が増幅します。考えたことを継続してやり抜きましょう。
★　ＧＴＨは、「疑問→探究→発見」という学びの方程式です。
★　「自己有用感」を高めてください。そのためにあなたは何に挑戦しますか?
自分が誰かの役にたつためには、感謝の心と自己肯定感を持つことが大切です！
★　ＮＰＴは仁賀保高校プログラミング思考の略称です。ＮＰＴを意識して、学びを活性化しましょう。プログラミングは、Trial＆Errorで進めましょう！